

第5章

教科書を用いた音読・シャドーイング指導(中学校)

5.1 会話文の音読・シャドーイング指導

生徒の学習意欲を高めるためには、ペアワークが必要である。対話文は特にペアワークに向いているが、ペアワークに入る前の一斉指導を充実させる必要がある。

以下、一斉指導とペアワークを中心とした指導例である。

5.1.1 授業の流れ

- ①リスニングによる内容理解
- ②リスニングしながら黙読による内容理解(本文を見る)
- ③音読練習
- ④まとめ(T or F quiz)
- ⑤復習(英問英答)
- ⑥activity プラス・ワン・ダイアログ

5.1.2 教材例(P142)

5.1.3 指導例

- ①リスニングによる内容理解

教科書を閉じた状態で、CDの本文を聴かせる。リスニング前に内容を問う質問を一つずつ与えて、質問の数だけリスニングを繰り返す。

※教科書は閉じた状態で、新出単語はリスニング前に導入する
(推測可能であれば行わない)

- ②リスニングしながら黙読による内容理解(本文を見る)

①の質問をプリントで配布し、生徒は黙読した後に答えを記入する。その後、教科書を簡易アナライザとして利用して生徒の理解度を見る。

③音読練習

- (1) リッスン・アンド・リピート
- (2) リード・アラウド・リッスン・アンド・リピート
- (3) パラレル・リーディング
- (4) シャドーイング
- (5) リード・アンド・ルックアップ
- (6) 日英通訳演習(ペアワーク)p148

④まとめ(T or F quiz)(Reading and Correction)

各自、教科書は閉じてワークシートを用いて、本文の内容と異なる記述を正しく直させる。訂正の仕方は、本文の内容と一致していれば様々で良い。

⑤復習(英問英答)

次の時間の最初に、ワークシートを配布し、英問の音読練習、学習した本文の音読練習、ペアでの英問英答の流れで行う。

(1)英問の音読練習

ワークシートの **Answer** が見えないように半分におり、英文を音読。ペアワークの準備として行う。

(2)本文の音読練習・・・パラレルリーディング

(3)ペアワークでの英問英答

回答側は、何も見ず質問に答え、もう片方が回答が合っているか確認し、間違っていれば教える。後に交代。

⑥activity プラス・ワン・ダイアログ

最後に一文入れるなら、自分はどんな英文を入れるか考えさせ、1文をつくらせる。その後、役になりきってその文を組み込んでダイアログ全体を何も見ないで言わせる。

【感想】

中学の英語授業では、高校に比べて時間的余裕があり、1単元を数時間かけて履修する場合が多い。私自身の経験でもそうだったが、それだけ時間をかけるからには毎回の授業に工夫がなければ生徒のモチベーションは下がってしまう。その意味で、今回挙げられていたような手順を踏んで様々な音読パターンを試行してみるのには有効かもしれない。この手順がある程度パターン化すれば生徒の自主的な予習復習の方法も定まってくるだろう。